



地域おこし協力隊・復興支援員・集落支援員委嘱

5月16日、市役所で、市地域おこし協力隊・復興支援員・集落支援員合同委嘱状交付式を行いました。

7年度は、地域おこし協力隊15人、復興支援員5人、集落支援員4人で活動をスタートします。

委嘱状交付後に、各隊員がそれぞれの活動内容の発表を行いました。市長は各隊員に向け、積極的な行動力と新たな目線や知見を発揮し、地域の課題解決に向け活躍してほしいと期待を寄せました。



春のおはなし会

4月26日、市図書館で「春のおはなし会」が開催され、親子15人が参加しました。

おはなし会どんぐりによる、絵本やビッグブック、手あそびなど春にちなんだプログラムや紙芝居を楽しみました。

最後に、折り紙で作ったかわいい動物付きの花束と、動くはらぺこあおむしのプレゼントをもらった子どもたちは大喜びでした。



元行政相談委員の松山さんに総務大臣感謝状贈呈

4月23日、市役所で、総務省福島行政監視行政相談センター主催による退任行政相談委員総務大臣感謝状贈呈が行われました。3月31日付けで行政相談委員を退任した松山秀明さんに、只野裕子所長から総務大臣感謝状が手渡されました。

松山さんは2009(平成21)年4月から16年間、田村市担当の行政相談委員を務めました。国民と行政とのパイプ役として、行政に関する苦情や意見などの相談を受け付け、その解決に尽力されました。



昆虫課がアポロアワードユニークな部署大賞を受賞

昆虫課は、アポログループがユニークな企業を表彰する『アポロアワード』で、ユニークな部署大賞に選ばれ、4月23日、市役所でアポログループより表彰を受けました。

昆虫課は、「昆虫のまち」としてのブランド力を高めるため、5年7月に発足しました。今後も昆虫に関する魅力発信を行い、交流人口の拡大を推進します。



元気におよぐ、こいのぼり

4月16日、大越こども園で、こいのぼり掲揚式が行われました。

式では市長のあいさつ後、園児たちと市長が力を合わせてロープを引き、たくさんのこいのぼりを掲揚しました。春風を受けて泳ぐこいのぼりに園児たちからは歓声があがり、その後、元気な声で童謡「こいのぼり」を合唱しました。

また、市長より代表の猪狩楓菜さんと新田華穂さんに記念品が贈呈されました。こいのぼりは、こどもまんなか児童福祉週間に合わせ5月12日まで掲揚されました。



お人形様の衣替え

船引町各地区で、4月13日に「朴橋のお人形様」、同27日に「堀越のお人形様」と「屋形のお人形様」の衣替えが行われました。

各地区のお人形様は、顔のお化粧を塗り直し、髪の毛やひげの杉の葉、わらで編んだ衣などが取り換えられました。参加した会員らは、地域の安全や無病息災などを願っていました。

お人形様は江戸時代から旧磐城街道沿いに祀られ、その製作の習俗は県の指定無形民俗文化財に指定されています。

※写真は朴橋のお人形様

手話 初心者向け
よく使う日常会話 Vol. 7

こんばんは

両手のひらを前に向け、胸の前で交差させます。

陽が沈むイメージです。□の形も「こんばんは」と言いましょう。

祝 100 歳！ 末永くお元気で

2人には福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などから賀寿や記念品などが贈られました。

宇多 慶藏さん



船引町船引の宇多慶藏さんが、4月9日に満百歳を迎えられました。

慶藏さんは、高校から社会人になるまでずっと柔道を続け、ゲートボールやグラウンドゴルフもよくプレーしていたそうです。趣味は釣りや山歩き、山菜採りで今でもYouTubeの釣り番組をよく見ているそうです。食べ物は甘いもの全般で、特に果物やプリンが好物。

長寿の秘訣は「毎日、運動をして体を鍛えること」で、ウォーキングは毎日欠かさずに行っていたそうです。

齋藤 ハルさん



大越町上大越の齋藤ハルさんが、4月29日に満百歳を迎えられました。

ハルさんは、老人会の仲間や友人たちといろいろな所へ旅行に出掛けたり、夫婦でゲートボールをしたりしていました。ハルさんの現在の楽しみは、令和生まれのひ孫さんと一緒に遊ぶことだそうです。

長寿の秘訣は「ゲートボールや畑作業などよく体を動かすこと、好き嫌がなく3食きちんとご飯を食べること」と教えてくれました。

さまざまな分野で功績を残した人に贈られる7年春の叙勲が4月29日、発表されました。田村市からは2人が受章しました。2人に喜びの一言をお聞きました。

旭日双光章

長谷川 元行さん

(70、船引町)
元市議会議長



「家族や支援者の支えのおかげ。市役所新庁舎完成時にテープカットしたのが昨日のここのよう」と、市議会議長だった10年前の出来事を振り返ります。2003(平成15)年に船引町議に初当選し、2005(同17)年の町村合併を経て、計5期18年5カ月務めました。議長時代に「開かれた議会」を目指し、議会のインターネット中継を実行し、地方自治の伸展に尽くしました。

瑞宝双光章

渡邊 世子さん

(74、都路町)
元郡山養護学校長



「子どもたちに『出会えてよかった』と思われるような存在を目指した」と、31年間の教員人生を振り返ります。平養護学校教頭、西郷養護学校長などを歴任し、障害のある子どもの教育に携わってきました。肢体が不自由な生徒が思いを表現できるようにするため、口の中でセンサーを動かして、パソコンを操作できる装置を自作。「子どもたちの輝く笑顔が見たい一心だった」と話しました。

春の叙勲

たゆまぬ
努力の結晶